

第2分科会テーマ

『地域の特徴を生かしたスポーツ文化の創出について』

発表者 札幌市スポーツ推進委員 清野 忠雄（札幌市清田区）

1 札幌市清田区について

札幌市清田区は、市の南東部に位置しており、1997年に札幌市豊平区から分区しました。面積は59.87km²で札幌市10区の中で4番目の広さ、人口は11万人弱で10区の中で一番少ない区となっています。



【面積】

1	南区	657.48 km ²
2	西区	75.10 km ²
3	北区	63.57 km ²
4	清田区	59.87 km ²
5	東区	56.97 km ²
6	手稲区	56.77 km ²
7	中央区	46.42 km ²
8	豊平区	46.23 km ²
9	白石区	34.47 km ²
10	厚別区	24.38 km ²

【人口】

1	北区	261,235 人
2	東区	249,599 人
3	中央区	217,633 人
4	豊平区	210,803 人
5	西区	209,283 人
6	白石区	200,377 人
7	手稲区	134,390 人
8	南区	127,198 人
9	厚別区	126,264 人
10	清田区	109,617 人

※札幌市の人口は、1,968,776 人（2024.7 現在）

2 清田区の特徴

清田区は、白旗山や平岡公園などの緑豊かなエリアが多く、区の約3分の2が丘陵地や山林に覆われており、厚別川をはじめ多くの川が流れている自然の美しい地域です。



「清田」という地名は 1944 年に「美しい清らかな水田地帯」という意味で名づけられ、昭和 30 年代までは厚別川の低地帯に水田が広がり、小高い丘にはリンゴが実る農村地帯でした。1961 年に豊平町と札幌市が合併してからは都市化が進み、住宅地として発展。現在は「イオンモール札幌平岡店」や「コストコホールセール札幌倉庫店」などの大型商業施設も整っており、隣接する北広島市には「三井アウトレットパーク」もあるため、子育て世代に人気がある地域です。

また、清田区は札幌市内で唯一、地下鉄駅や JR の駅が無い区であるため、バスや自家用車が主な交通手段となりますが、国道 36 号線や道央自動車道を利用すると、札幌市中心部や千歳空港へのアクセスも便利です。

3 清田区マスコットキャラクター『きよっち』



「きよっち」は白旗山に住んでいる森の妖精。清田区のシンボルマークが入った帽子をかぶり、胸には区の自然を象徴する木の葉柄が入っています。

誕生日は清田区が分区した 11 月 4 日。

『きよっち』の詳細は、コチラ ⇒

きよっちのおへや

検索

【URL】 <https://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/kiyotchi/index.html>

4 清田区スポーツ推進委員会について

清田区では、現在 15 名（男性 12 名、女性 3 名）の委員が活動しています。
主な活動は、以下のとおりです（協力事業含む）。

■札幌市スポーツ推進委員会関係

- ・札幌マラソン（10 月）
- ・札幌国際スキーマラソン（2 月）

■清田区スポーツ推進委員会関係

- ・清田ふれあい区民まつり（7 月）
- ・清田区地区対抗壮年野球大会（8 月）
- ・スポーツフェスタ in 白旗山（10 月）
- ・清田区スポーツ講演会（11 月）
- ・Fun×Fan Sports in きよた（2 月） など

【清田ふれあい区民まつり】

清田区最大のイベントで、清田区スポーツ推進委員会が運営の中心を担っております



【Fun×Fan Sports in きよた】

子どもを対象とした、体験型スポーツイベント。令和 6 年 2 月は約 600 人の集客



5 「スポーツフェスタ in 白旗山」について

清田区のシンボルの一つである「白旗山」に愛着を持ってもらおうと同時に、区民にスポーツの楽しさを実感してもらうことを目的に開催。平成 19 年に清田区の誕生 10 周年を記念して「白旗山フェスティバル」という名称で開始し、平成 22 年からは現在の「スポーツフェスタ in 白旗山」に名称を変更して開催しています。

■主 催 スポーツフェスタ in 白旗山実行委員会

(構成団体：清田区町内会連合会連絡協議会、清田区スポーツネット、清田地区商工振興会、清田区青少年育成委員会連絡協議会、清田区スポーツ推進委員会 など)

■会 場 白旗山競技場とその周辺

■来場者数 約 1500 名 (令和 5 年 10 月)

■内 容 「スポーツの日」に白旗山競技場をメイン会場として、誰でも気軽に参加できるゲーム感覚のスポーツや、白旗山の大自然に親しめるイベント

2023 年度の種目

- ・少年野球教室 (清田区少年軟式野球連盟による)
- ・ミニサッカー大会 (札幌地区少年サッカー連盟 清田区による)
- ・白旗山ハイキング (清田 Hi 遊会による)
- ・バスケットボールシュートチャレンジ (レバンガ北海道による)

ほか、キックターゲットやストラックアウト、スナッグゴルフなど、小さい子どもも楽しめるゲームスポーツ各種



6 地域の特性を生かしたスポーツ文化の創出

札幌市清田区は自然豊かな環境と活発なコミュニティが特徴的な地域。最近では、清田区役所と地元の札幌国際大学が連携して運動教室を実施したり、清田区の地域団体が主体となってフィンランド発祥のスポーツ「モルック」の普及振興を通じて地域の活性化に取り組んでいます。

また、子育て世代が多く住む清田区において「スポーツフェスタ in 白旗山」のような、地元の自然環境を活用した、親子で楽しめるスポーツイベントを継続して開催することで、スポーツのみならず地域への愛情も育まれる良い機会になると考えております。

■清田区スポーツ推進委員会と地域の関わり

清田区スポーツ推進委員会は、清田区で開催される多くのイベントにおいて中心的な役割を担っており、一年を通して地域の各団体と連携してスポーツの振興や地域の活性化に取り組んでいます。会場の選定においても

「スポーツフェスタ in 白旗山」は地元の白旗山競技場

「Fun×Fan Sports in きよた」は地元の清田区体育館・温水プール

「清田区スポーツ講演会」は地元の清田区民センター区民ホール

をそれぞれ会場として、地域に根差したイベントを開催しているところです。

また、清田区スポーツ推進委員会をはじめ、地元の各競技団体等で構成されている「清田区スポーツネット」は、日頃交流する機会が少ない各競技団体等との情報交換や課題解決の場も設けており、地域全体でスポーツ文化の充実を図っています。これらの活動は地域の特性を生かし、住民一人ひとりがスポーツを通じて、健康促進とコミュニティの結束を強化することに寄与しております。

7 今後に向けて

札幌市清田区に限らず、今後は少子高齢化が進み、子どもをターゲットとした事業やイベント等が減っていくことが予想されます。そのような中で「スポーツフェスタ in 白旗山」や「Fun×Fan Sports in きよた」のような、すでに地元根付いている「地域のスポーツ文化」を維持、継続していくことが、「地域の特性を生かしたスポーツ文化の創出」のために重要であると認識しており、今後も「白旗山競技場」や「清田区体育館」といった地元の施設を活用するとともに、地域の人々や団体と連携しながらスポーツ文化の発展に取り組んでいきたいと考えております。